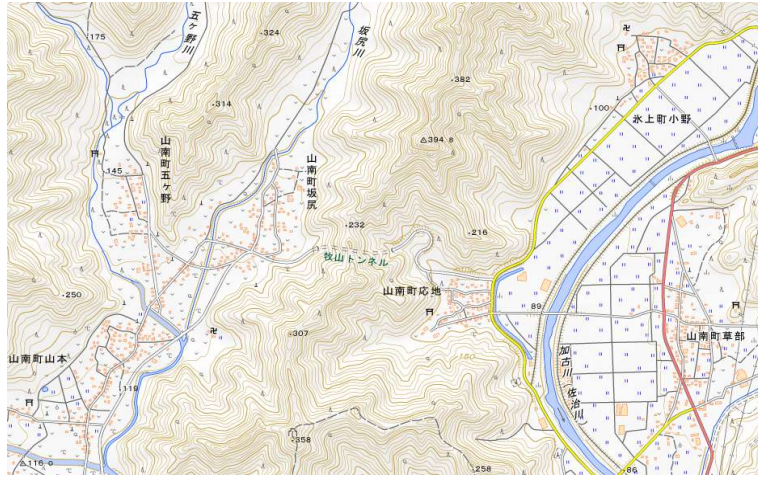


丹波市トンネル個別施設計画 (牧山トンネル)

- ・計画期間 5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかになるよう10年とする。また、計画については点検結果等を踏まえ、適宜更新する。トンネルの健全性（点検結果）がⅢと診断された場合は、点検実施年から原則5年以内の対応を目指します。
- ・計画の基本方針 トンネルの状況に応じて、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログ（案）などの資料を参考に新技術の導入を検討するとともに、補修工事においては新材料や新工法等の活用を検討することで、建設から維持管理に至る全ての段階においてコストの縮減に努め、トンネルの安全性の確保と維持管理の効率化を図ります。
- ・対策優位の考え方 点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう必要な措置を講じるとともに、路線の重要性やトンネルの健全性の判定区分などを踏まえ総合的に判断する。
- ・施設の状態 直近では令和2年度に定期点検を実施したが、一部Ⅱa判定損傷がみられるが前回の点検結果と比較しても損傷が進行していないことから、引き続き経過観察を行いながら次回点検時に再確認を行い、補修工事を適宜検討する。
 また、長期的な維持管理の観点からトンネル照明においては安定器の供給が不可能になる等、通常の維持管理に支障をきたさぬよう、LCCも考慮しLED照明への更新を適宜検討する。
 管理する施設は市内の主要道路であり、周辺に迂回路がなく（迂回した場合約7キロ）、社会活動等に影響を与えるため集約化・撤去を行うことは困難であるが、周辺の状況や施設の利用状況を踏まえて、再度検討を行う。

No	施設名	所在地		起点側	作業用番号	市道名	トンネル の分類	施設延長	車道幅員	歩道幅員	高さ	路面種別	供用年度	最新点検年次
				緯度										
1	まきやま 牧山トンネル	山南町応地		35° 06'29.88"	TU0-	坂尻応地線	NATM	372.0m	6.5m	1.0m	4.7m	C o n t=20cm	2003	2020 (R2)
				経度	282235									
				134° 58'33.90"	-00001									
	修繕計画													
	年度	総事業費 (百万円)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
対策内容		点検					点検		補修			点検		
対策費用 (百万円)	9	3					3					3		

直近点検の 判定区分
Ⅱ



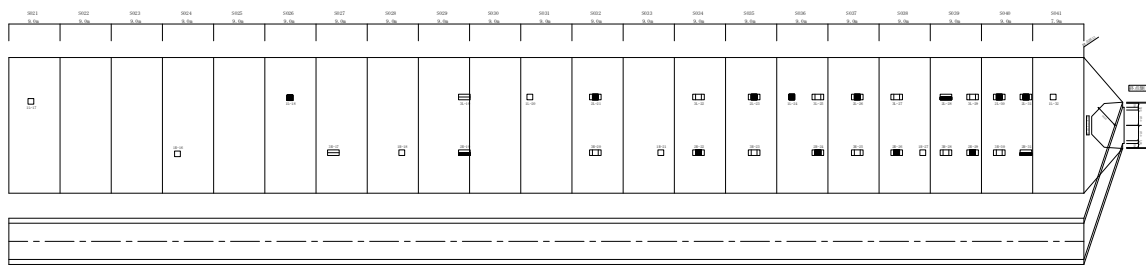
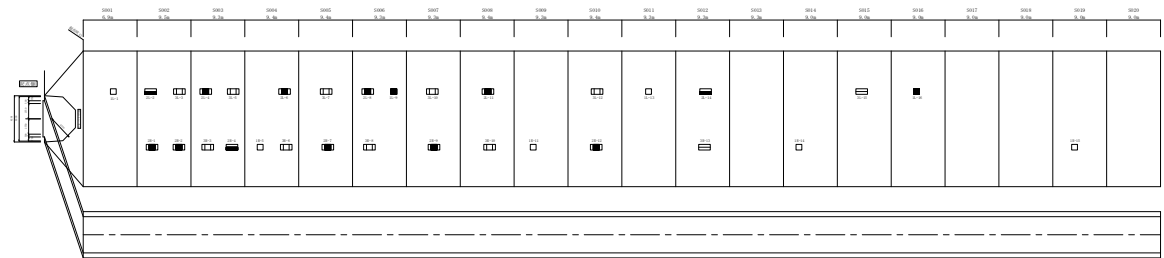
位置図



トンネル歴板



起点側



終点側